

【開かれた議会の実現をめざして】

令和2年12月12日(土)に第17回議会報告会および意見交換会を、町民ホールにて開催しました。午前および午後の部あわせて56人の方にご参加頂き、町政についての活発な意見交換の場となりました。※詳しくは、嵐山町ホームページ議会報告会報告書をご覧ください。

第17回 議会報告会を開催！

意見交換会のテーマは「コロナ禍にて町に望むもの」

<学校教育について>

- 3か月間学校が休みになったことで学習意欲が落ちていると感じる。
- 休校後の授業の進み方が速く子供が授業についていけないのか心配している。
- 小学1年生は入学後も学校にいけない状況が続き、最初は学校に行きたくないと言っていた。
- 在宅学習の間は、保護者にかなりの負担がかかっていた。学校と保護者と密に連絡を取れる環境などを考えて欲しい。
- タブレット配布は良いが、ネット環境も含めて格差が広がるのが心配。対策を考えてほしい。
- タブレットがネットにつながると教育以外に利用されるか心配。
- 机の上にタブレットを置いてノートも広げると机の上が相当狭い。また、使い方であるとか、破損したときの責任、セキュリティなど心配なことが多い。きちんと説明してほしい。
- タブレットの更新等は考えているのか。
- 給食費の補助で第2子以降の補助があったが、幼稚園児にはなかった。
- 県内の公立小中学校トイレ洋式化率は57%で嵐山町は33%となっている。
- 部活動を町の中で指導できる仕組みを考えてもらいたい。



※意見交換会は2会場（町民ホール・2階会議室）に分かれて行われました。
※右上の写真は町民ホールでの報告会の様子

<学校統合・小中一貫校について>

- 学校統合のことは、子どもたちの親でさえ学校がどうなるのかもわからない状況、保護者には一度も説明がなされていないことが問題と思う。
- 議員：学校の中での説明がないという話があったが、実際そうだったのか。
- 決定した事項としての報告があっただけだ。
- 地域で3回ほどあって参加したが、人数が少なかった。
- 町報で知らせたというが、学校で説明してほしい。
- 今からでも遅くないので、もう少し住民説明をして、みんなが納得した状態で進めてほしい。
- もっと町の人々の意見を吸い上げて、なぜ統合の一貫校にしなければならないのか考えていかなければ、嵐山町に子供は残っていきません。
- 嵐山町では議会でも何の議決もしていない。みんなの意見をもっと聞いてくださいと言いたい。
- 新校準備委員会では、学校名の募集までしてい

- る。少数の意見だけで決めてしまっているのか。
- 小中一貫校では、学年4クラス、3階建てとなっているが、適正なのかチェックが必要だ。
- 一貫校では、教職員の人数はどのくらいか、教科担任制もどのように考えているのか知りたい。
- 校舎とグラウンドが道を隔ててあって施設一体型と言えるのか。
- スクールバスは4km以上というが、いろんな面で子供の負担になるのでスクールバスはもう少し広い範囲で使えるようにしてほしい。
- 小中一貫校の問題で答申を出した諮問機関に対して、議会があまり関わっていない。議会が軽視されているのではないのか。
- 2025年に開校予定だが、この計画を議会としては了解しているのか。
- 議員：議会にかけられたわけではなく、全員協議会の場での報告だけだ。

※意見は要約しています

意見交換会でのおもな意見

<コロナ対策について>

- 商工業者は大変疲弊している。国の第3次補正等があるので速やかな対応をお願いしたい。
- コロナ禍では、弱いところにきめの細かい手助けをして欲しい。
- PCR検査に力をいれて、町として補助してほしい。自治体によっては無料のところもある。
- 医療と介護の施設職員のPCR検査を複数回実施して欲しい。
- 学校でコロナ感染者が出た場合の対策マニュアル等があれば公開してほしい。
- コロナ差別が怖い。また、受験生がいるのでコ

- ロナ禍で受験が受けられるか不安だ。
- コロナ差別に対しては、「コロナ差別のない町宣言」を提言してほしい。
- 学校の予防作業などの支援をして、先生が授業に集中できるようにしてほしい。
- 情報発信は不安をあおる情報ではなく、適切に必要な情報がほしい。
- 子供がマスク通学をしているが、マスクが必要な場面と不必要な場面があると思う。場面に応じた対策をしてほしい。

<町政について>

- 災害に強い町づくりは、公助・共助・自助の順だと思っている。
- 障害のある人たちのための避難所を福祉施設ではなく、別の形で整備避難訓練もする必要がある。
- 財政調整基金が少ないというが、なぜこうな

- たのか。
 - 町の財政危機の説明がおかしい。議員の考えは。
 - コロナ禍の対策は長期になる。不要な事業をやめていかないと財源が不足してくる。
- ※意見は要約しています